

第 135 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
前	払	金	立	替	金	未	収	入	金	土		地
建		物	備		品	買	掛		金	当	座	借
支	払	手	形	前	受	金	手	形	借	入	金	備
所	得	税	預	り	金	引	出		金	固	定	資
減	価	償	却	費	手	形	売	却	損	租	税	公
通	信	費		雑		益		雑		損		受
現	金	過	不	足		固	定	資	産	売	却	益

1. 決算日において、現金過不足（過剰額） ¥ 24,000 の原因を改めて調査した結果、通信費 ¥ 5,600 の支払い、および手数料の受取額 ¥ 27,600 の記入漏れが判明した。なお、残りの金額は原因が不明であったので、適切な処理を行う。
2. 先日受け取った佐藤商店振出しの約束手形 ¥ 500,000 を銀行で割り引いたところ、割引料 ¥ 4,000 が差し引かれ、残額が当座預金口座に振り込まれた。
3. 不要となった備品（取得原価：¥ 300,000、減価償却累計額：¥ 108,000、記帳方法：間接法）を当期首に処分し、売却代金 ¥ 200,000 は月末に受け取ることにした。
4. 建物と土地に対する固定資産税 ¥ 640,000 の納税通知書を受け取り、第 1 期分 ¥ 160,000 を現金で納付した。このうち、事業用の割合は 80% であり、店主用の割合は 20% である。
5. 甲斐商店から商品 ¥ 900,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は ¥ 750,000 であるが、取引銀行と借越限度額 ¥ 1,000,000 の当座借越契約を締結している。